

「岐阜県汚水処理事業広域化・共同化計画」の概要

1. はじめに

P 1～3

(1) 岐阜県汚水処理事業広域化・共同化計画とは

下水道などの汚水処理事業の効率的かつ持続的な運営を推進するため、広域化・共同化に向けた方針を示すとともに、短期（5年以内）、中期（5～10年）、長期（10～30年）にわたって取り組むべき事項を明らかにするもの

(2) 位置づけ

県内自治体が行う下水道等の個別の汚水処理計画の上位計画である「岐阜県汚水処理施設整備構想」に位置づけされたもの

2. 広域化・共同化の取り組み方針

P 23～25

「岐阜県汚水処理施設整備構想」の方向性を踏まえ、汚水処理事業が抱える様々な課題に対応するため、施設の広域化や維持管理の共同化などにそれぞれの自治体、若しくは複数の自治体が連携して取り組む

費用削減、経営効率化に最も効果の大きい施設統廃合(ハード)事業に重点的に取り組む

(1) ハード事業に係る検討方針

すべての施設での将来性の検討、施設の広域化による統廃合の推進、個別処理への転換等の検討、下水道施設へのし尿処理施設の統廃合

(2) 広域化による施設統廃合に係る検討方針

県流域下水道への統合の推進、自治体間の広域連携による統廃合の検討、自治体内での統廃合の推進

3. 具体的な取り組み

P 26～43

取組	主な内容
1. 施設の広域化	<ul style="list-style-type: none">・別々の処理区を接続管の設置により統合・位置や更新時期に近い複数の施設の集約化・汚水処理施設とし尿処理施設の統合
2. 危機管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none">・災害に迅速に対応するため、県や市町村が共同で様々な団体と災害時支援協定を締結

3. 運営・維持管理の共同化	<ul style="list-style-type: none"> ・執行体制の共同化 ・事務処理の共同化 ・ICT活用による施設管理の共同化 ・管きよの点検・調査や不明水調査の共同化
4. 人材育成の共同化	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の共同実施 ・圏域ごとの意見交換会の実施 ・施工・調査等の見学会の実施
5. その他の共同化の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・接続率向上に向けた取組みの共同化 ・集合処理から個別処理への転換の検討情報の共有

4. ロードマップ

P 4 4 ~ 5 7

ハード事業、ソフト事業について、関係する自治体名や施設名、取組時期を記載

○広域化による汚水処理施設の統廃合

下水道	農業集落排水	し尿処理	その他	合計
13	82	11	3	109

※県内稼働中の汚水処理施設の数

下水道	農業集落排水	し尿処理	その他	合計
94	186	22	41	343

5. 進行管理

P 5 8 ~ 5 9

(1) 計画の推進体制の構築

進捗管理や市町村への技術的援助を目的とした市町村連絡調整会議の開催
自治体間連携による施設統廃合を検討するための関係自治体間勉強会の設置

(2) 留意事項

取組にあたっては都市部と山間地域など地域性も考慮する

施設統廃合などの実施にあたっては、立地する地域に適時適確に情報提供を行い、計画への理解と協力を得る

(3) 進捗管理、計画の見直し

PDCAサイクルによるマネジメントを実施、必要に応じ柔軟に計画を見直す